

株主の皆様へ



第103期報告書

平成28年2月1日～平成29年1月31日



スバル興業株式会社

証券コード：9632

株主の皆様へ



取締役社長

小林 憲治

社会の発展に一層貢献することを基本的な考え方として事業活動を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当社グループは創業以来、「社会に奉仕すること」を企業理念として、道路の維持管理を通して生活環境整備事業の推進を図るとともに、映画興行と飲食店経営を通して豊かな生活を提供し、社会の発展に一層貢献することを基本的な考え方として事業を進めております。

このような中、当社第103期（平成28年2月1日から平成29年1月31日まで）の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概況等をご報告申し上げます。

また、当社は、平成29年4月27日開催の第103回定時株主総会において、「監査等委員会設置会社」へ移行いたしました。当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、コーポレート・ガバナンスの充実を経営の重要課題として位置づけております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成29年4月

財務ハイライト (連結)

営業の概況

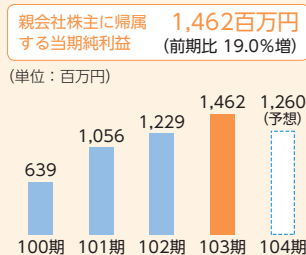
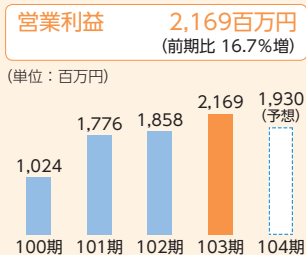
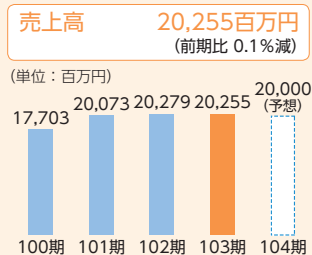
当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調が続いたものの、一方で企業収益の改善に足踏みがみられ、海外経済の不確実性が高まる等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めました結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比で19%の増益となりました。

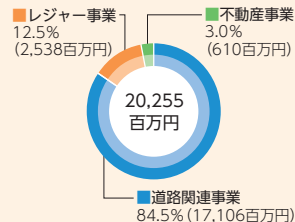
なお、経営の効率化を図る目的で、期中10月に連結子会社スバル・ソーラーワークス株式会社を吸収合併いたしました。

次期の見通し

当社グループの次期の見通しにつきましては、売上高20,000百万円、営業利益1,930百万円、経常利益1,940百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,260百万円を見込んでおります。



セグメント別売上高構成



営業の概況

道路関連事業部門

売上高 17,106百万円
セグメント利益 2,216百万円

主な事業

- 道路・橋梁・河川 維持工事
- 道路・河川 保全作業
- 道路環境関連製品の販売
- 有料道路等の売店経営
- 太陽光発電事業

道路関連事業は、公共投資が底堅い動きで推移しているものの、引き続き建設技能者の不足や材料・資機材の価格変動の動向等は、予断を許さない状況が続きました。当社の主力事業である道路維持・補修工事においては、老朽化している道路、道路附属設備および橋梁等のインフラ整備の需要は増しておりますが、競合他社も多く受注競争は激化しております。このような中、営業部門と現業部門との連携を密にし公共事業の総合評価方式への入札対応や積算精度の向上を図るとともに、受注工事の増工や民間下請工事等の受注にも積極的に取り組み、また、近年頻発する集中豪雨や大雪等の自然災害に迅速に対応するため施工体制の強化を図りました。各現場において原価管理の徹底によるコストの削減や業務の効率化を進め、利益の向上に努めましたところ、前期比で増益となりました。



橋梁補修工事



舗装工事

レジャー事業部門

売上高 2,538百万円
セグメント利益 137百万円

主な事業

■ 映画興行 ■ 飲食店経営 ■ 飲食物品等販売 ■ マリーナの運営

『有楽町スバル座』における映画興行は、期中邦画18作品、洋画4作品の計22作品を上映し、「団地」をはじめ、「うさぎ追いしー山極勝三郎物語ー」「海すずめ」等の邦画作品が好評を博し、売上高は前期を上回りました。

飲食事業は、消費者の節約志向が依然として継続しており、人手不足による人件費の増加や天候不順等による材料費の高騰等が影響し、また、夏季に頻発した台風等の影響で一部商品の出荷が停止する等、厳しい事業環境となりました。このような中、食品・衛生管理の徹底を図り、季節に合わせた魅力ある新メニューの販売を行い、接客サービスの向上や、ランチタイムのオードブルバイキング等の新サービス提供による集客増を図り、収益の向上に努めましたところ、売上高は前期を上回りました。

なお、期中2月に『ドトールコーヒーショップ大宮駅前店』を開店いたしました。

マリーナ事業は、ヨットレース「スバルザカップ」の開催や「ハワイアンフェスティバル」等の各種イベントを実施し、利用者サービスに努めましたところ、『東京夢の島マリーナ』『浦安マリーナ』ともに契約艇数が高水準で推移いたしました。また、「イーノの森DogGarden」やバーベキューステーション、駐車場等の利用者が増加し、関連する船舶管理業務の受注等もあり、売上高は前期を上回りました。

以上のことからレジャー事業部門全体で前期比増収増益となりました。

不動産事業部門

売上高 610百万円
セグメント利益 388百万円

主な事業

■ 賃貸ビル ■ 賃貸倉庫 ■ 賃貸駐車場 ■ 土地の賃貸

不動産事業は、期中『吉祥寺スバルビル』で一部テナントの入替があったものの、『新木場倉庫』をはじめ他の賃貸物件は堅調に稼働したため、前期比増収増益となりました。

当社直営映画館および飲食店のご案内 (平成29年4月27日現在)



■ 映画館

- ① 有楽町スバル座
東京都千代田区有楽町1-10-1
有楽町ビル2F

■ 和 食 店

- ② そば処 竹むら
東京都千代田区有楽町1-10-1
有楽町ビルB1

■ イタリア料理店

- ③ ラ・ベルデ有楽町店
東京都千代田区有楽町1-10-1
有楽町ビルB1

- ④ ラ・ベルデ日比谷店
東京都千代田区内幸町2-2-2
富国生命ビルB1

- ⑤ ラ・ベルデ大手町店
東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエアB1

■ ダイニングレストラン

- ⑥ ディマール
東京都江東区夢の島3-2-1
東京夢の島マリナー内

■ 喫茶店

- ⑦ ドトールコーヒーショップ
サンシャインシティアルパ
東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャインシティアルパB1

- ⑧ ドトールコーヒーショップ神田駿河台店
東京都千代田区神田駿河台1-6-5
NTT駿河台ビル1F

- ⑨ ドトールコーヒーショップ
大山サンロード店
東京都板橋区大山東町52-2

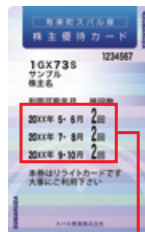
- ⑩ ドトールコーヒーショップ
イーサイト上尾店
埼玉県上尾市柏座1-1-18
JR上尾駅イーサイト上尾

- ⑪ ドトールコーヒーショップ新青山ビル店
東京都港区南青山1-1-1
新青山ビルB1

- ⑫ ドトールコーヒーショップ
大手町フィナンシャルシティ店
東京都千代田区大手町1-9-7
大手町フィナンシャルシティ
サウスタワーB1

- ⑬ ドトールコーヒーショップ大宮駅前店
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-8-1
ベルヴェオフィス大宮1F

株主ご優待



ご利用の都度、書き換わります。

ご所有株式数 ご招待回数

1,000株以上	6ヵ月 6回 (2ヵ月ごとに2回)
2,000株以上	6ヵ月 12回 (2ヵ月ごとに4回)
3,000株以上	6ヵ月 18回 (2ヵ月ごとに6回)

株主優待カードのご利用により、
有楽町スバル座上映作品がご鑑賞になれます。

株主優待カード（書換え式）

ご利用の際は、株主優待カードをチケット
売場へご提示願います。

ご利用方法などの詳細につきましては、「株
主優待のご案内」の冊子または、当社ホーム
ページにてご案内しております。

※株主優待カードは表A・Bに該当する株主様のみに
新たに発行いたします。

表C・D・Eに該当する株主様は、現在お持ちの
株主優待カードを継続利用となります。

	前基準日(平成28年7月)	当基準日(平成29年1月)	
A	売却	買付	新規カード発行
B	売却	買付	新規カード発行
C			既存カード継続利用
D	売却	買付	既存カード継続利用
E	売却	買付	既存カード継続利用
F		売却	株主優待権利消失
G	売却	買付	株主優待権利なし

基準日：1月31日(期末)および7月31日(中間)の2回です。
●●●●●●●●●● は当社株式の保有期間を表しております。

紛失や廃棄等で再発行される方は、再発行手数料2,000円
をご負担いただきますので、大切に保管ください。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

科 目	前 期	当 期
(資産の部)		
流動資産	12,101	12,163
固定資産	9,787	10,372
有形固定資産	8,163	8,737
無形固定資産	28	26
投資その他の資産	1,595	1,607
資産合計	21,889	22,535

POINT
1

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
(負債の部)		
流動負債	2,874	2,491
固定負債	763	729
負債合計	3,638	3,221
(純資産の部)		
株主資本	17,814	18,856
その他の包括利益累計額	6	10
非支配株主持分	429	447
純資産合計	18,250	19,314
負債純資産合計	21,889	22,535

POINT
1

POINT
1

POINT
1

当連結会計年度末の総資産は、受取手形及び売掛金、有価証券の減少等がありましたが、現金及び預金、未成工事支出金、土地の増加等により、前期末に比べ646百万円増加となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少等により前期末に比べ417百万円減少となり、純資産は、利益剰余金の増加等により前期末に比べ1,064百万円増加となりました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
売上高	20,279	20,255
営業費用	17,148	16,797
売上総利益	3,131	3,457
一般管理費	1,272	1,288
営業利益	1,858	2,169
営業外収益	39	44
営業外費用	5	12
経常利益	1,892	2,201
特別利益	133	8
特別損失	26	17
税金等調整前当期純利益	1,999	2,192
法人税、住民税及び事業税	731	713
法人税等調整額	8	△4
当期純利益	1,259	1,483
非支配株主に帰属する当期純利益	29	20
親会社株主に帰属する当期純利益	1,229	1,462

POINT
2

POINT
2

POINT
2

POINT
2

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
営業活動による キャッシュ・フロー	1,043	1,692
投資活動による キャッシュ・フロー	△562	△1,089
財務活動による キャッシュ・フロー	△274	△423
現金及び現金同等物に係る 換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額	206	180
現金及び現金同等物の期首残高	5,228	5,435
現金及び現金同等物の期末残高	5,435	5,615

POINT
2

当期の連結売上高は、道路関連事業17,106百万円、レジャー事業2,538百万円、不動産事業610百万円の合計20,255百万円（前期比0.1%減）となり、営業利益は2,169百万円（前期比16.7%増）、経常利益は2,201百万円（前期比16.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,462百万円（前期比19.0%増）となりました。

株式の状況 (平成29年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数：40,000,000株

発行済株式の総数：26,620,000株

株主数：4,673名(前期末比192名減)

大株主（上位10名）

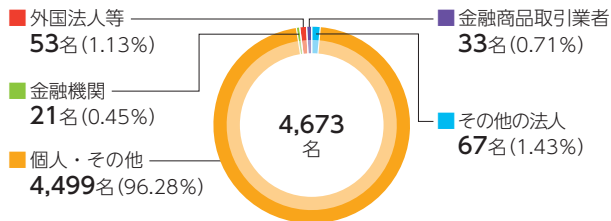
株主名	持株数	持株比率
	千株	%
東宝株式会社	13,607	52.88
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERSHIP LP	768	2.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	412	1.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	291	1.13
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	280	1.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	177	0.68
株式会社東宝サービスセンター	169	0.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	157	0.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	157	0.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	156	0.60

(注) 1. 当社は、自己株式888,506株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

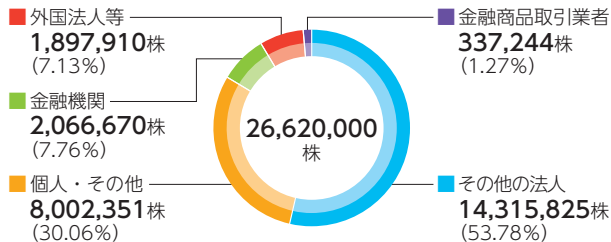
2. 持株比率は自己株式を控除し、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

株式分布状況

株主数



株式数



会社の概況

■会社概要（平成29年1月31日現在）

設 立	昭和21年2月9日
資 本 金	1,331百万円
主要な事業所	47か所
従 業 員 数	199名(連結411名)
U R L	http://www.subaru-kougyou.jp
本 社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861 (代表)
関 西 支 社	〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町3番21号 TEL 06-6313-4501 (代表)
主な事業内容	道路および道路附帯設備の維持・清掃、補修工事の請負、 有料道路等の売店運営業務の受託、太陽光発電事業、 映画興行、飲食・物販等の顧客サービス事業、 マリナーの運営事業、不動産賃貸業

■取締役（平成29年4月27日現在）

取締役社長(代表取締役)	小 林 憲 治
専務取締役(代表取締役)	松 丸 光 成
常務取締役	佐 波 宏 夫
常務取締役	永 田 泉 治
取 締 役	堀 内 信 之
取 締 役	今 沢 宏 之
取 締 役	岡 部 一 朗
取 締 役	竹 島 美 喜
取 締 役	太 古 伸 幸
取 締 役	石 塚 泰
取 締 役	宮 家 邦 彦
取 締 役(常勤監査等委員)	遠 藤 信 英
取 締 役(常勤監査等委員)	鈴 木 誠 之
取 締 役(監査等委員)	野 元 三 夏 (弁護士登録名：原 澤 三 夏)

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	1,000株 (平成29年8月1日より100株に変更)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.subaru-kougyou.jp (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日 本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご案内

<http://www.subaru-kougyou.jp>

スバル興業株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号

TEL 03-3213-2861 (代表)



お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問い合わせください。
 - それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
- ※・証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。
・当社は単元未満株式の買増請求は行っておりません。

2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求を除き、特別口座のままでは売買することができません。売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

- 特別口座から一般口座への振替のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問い合わせください。

3. 配当金の受取方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口に「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に替え、**銀行預金口座への振込**の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれます銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

- 配当金の振込指定のお手続き
▶ 口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問い合わせください。